

# 気分の落ち込みに 柴朴湯が奏効した一例



門間 美佳 先生

藤沢女性のクリニックもんま

2002年 山梨大学医学部 卒業

2002年 千葉県国保旭中央病院

2008年 湘南鎌倉総合病院

2019年 藤沢女性のクリニックもんまを開設

2021年 同施設にて、若い女性の健康を守るためにユースクリニックを開催している  
(毎月第1土曜日午後)

## はじめに

月経前症候群は、月経前の黄体期に不快な精神的・身体的症状を反復する病態で、そのうち精神症状が重症なものを月経前不快気分障害(premenstrual dysphoric disorder: PMDD)という。治療には経口避妊薬、低用量エストロゲン・プロゲステン配合剤、SSRIなどがあるが、西洋医学的治療法だけでは症状を取り除くには十分ではなく、心身両面に作用する漢方療法も重要である。

## 症例

**症例**：20歳 女性。

**主訴**：月経前不快気分障害(PMDD)。

**現病歴**：診察前に「ユースクリニック」を受診した。月経前は毎回絶望感にさいなまれ、通勤中の電車の中でも自然に涙が出てしまう。家族関係や学校、友達のことなどで大変なことも多く、落ち込むことが多い。落ち込んだ際には、飲み込みにくさや喉の違和感が生じる。

**身体所見**：身長 160cm、体重 44.6kg、BMI 17.4。

**臨床経過**(図1)：X年8月、月経前に半狂乱になって自傷してしまったため、PMDD重症型と診断し低用量ピル(ドロスピレノン・エチニルエストラジオール配合剤)1錠/日と、発作的な衝動時の甘麦大棗湯 1包/回(頓用)にて治療を開始した。X年9月の受診時には月経発来前で低用量ピルは服用しておらず、症状の改善も認め

られなかった。そこで、柴朴湯 7.5g/日を追加した。X年10月にPMDDの改善が認められ、半狂乱になることはなく、不安感や落ち込みが少なくなった。症状の改善がみられたため柴朴湯は減薬し、気持ちの状態をみながら自己調節としている。

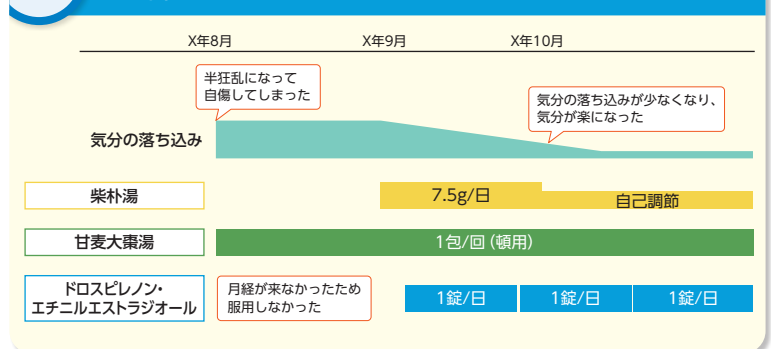
## 考察

柴朴湯は小柴胡湯と半夏厚朴湯を合わせた構成になっている。理気剤の柴胡が含まれており、肝気の鬱結を強力に取り除くとともに、半夏厚朴湯による気の流れの促進も期待できる処方である(図2)。

本症例における精神症状に対して、甘麦大棗湯による抗不安効果を期待したが、精神症状に加え患者の衝動性が高いことが問題となった。柴朴湯に変更したところPMDDの気分の落ち込みや衝動性が改善された。

柴胡には抗ストレス作用を有するという基礎研究が報告されており<sup>1)</sup>、ストレスが加わることにより衝動的に自傷

図1 臨床経過

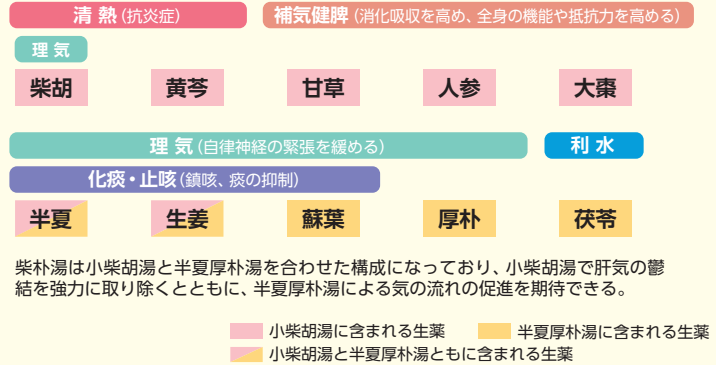


してしまう本症例には適していたと考えられる。  
柴朴湯の精神症状に対する臨床効果について村瀬らは、不安神経症、心気症、抑うつ神経症に対する柴朴湯の改善率は85.2%であり、精神的な症状以外の一般的な体調改善もみられ、QOLの改善にも有用と報告している<sup>2)</sup>。尾崎らは、軽度から中等度の不安感を標的症候として柴朴湯を投与したところ、不安感、抑うつ気分、自閉性に有効であったと報告している(図3)<sup>3)</sup>。

## 結語

PMS/PMDDに困っている女性は婦人科だけでなく、内科などを受診することも多いと思われる。PMS/PMDDの女性をエンパワーするために、低用量ピルなどのエビデンスに基づいた標準治療を実践することも大切だが、低用量ピルを服用できないケースや服用したくないなど治療に難渋するケースにおいては漢方治療によって患者との信頼関係を維持しつつ、治療を継続することができる。

### 図2 柴朴湯の構成



### 図3 柴朴湯の報告

- 柴胡には抗ストレス作用を有するという基礎研究<sup>1)</sup>が報告されている。ストレスが加わるにより衝動的に自傷してしまう本症例には適していたと考える。
- 村瀬らは、不安神経症、心気症、抑うつ神経症に対して柴朴湯を投与したところ、やや改善以上は85.2%であった。精神的な症状以外にも一般的な体調も改善しており、直接的な症状改善のみならずQOLの改善にも有用であると述べている<sup>2)</sup>。
- 尾崎らは、軽～中等度の不安感を標的症候として、12例に柴朴湯の追加投与を4週間行った。その結果、有効な精神症状は不安感、抑うつ気分、自閉性であったと述べている<sup>3)</sup>。

#### 【参考文献】

- 1) 渡辺大士: オレキシン分泌の制御を介した加味逍遙散の抗ストレス作用. 昭和专业誌 77: 146-155, 2017
- 2) 村瀬澄夫 ほか: 柴朴湯による神経症治療. 新薬と臨床 38: 1014-1023, 1989
- 3) 尾崎 哲 ほか: 柴朴湯の向精神作用. 新薬と臨床 42: 1461-1471, 1993

## Discussion

- 木村:** 抗ストレス作用のある柴胡が配合された柴朴湯が処方されましたが、イライラと鬱々の両方に効果のある加味逍遙散や柴胡加竜骨牡蛎湯との鑑別についてはいかがですか。
- 門間:** 本症例は喉のつまりがあり気鬱が強いため半夏厚朴湯をベースに、中間証で小柴胡湯も考えて柴朴湯を使用しました。より実証なら柴胡加竜骨牡蛎湯、虚証なら加味逍遙散を考えます。
- 木村:** 約1ヵ月間の服用で効果がみられ、その後は自己調節になっています。漢方薬を月経前にのみ服用するというような治療法もありますか。
- 門間:** PMSの特徴は、月経前約2週間は黄体ホルモン値が高く、月経が発来すると症状が速やかに改善します。月経前の最もつらい期間にのみ漢方薬を服用していただくことも多くあります。
- 木村:** PMS/PMDDには他にどのような処方を使われますか。
- 門間:** 黄体ホルモンによるむくみには五苓散、気分の落ち込みには半夏厚朴湯を使用しますが、さらにひどい場合は柴朴湯と抗不安薬やSSRIなどを処方することもあります。